

法勝寺歌舞伎保存会 定期公演会開催

ふるさと南部町法勝寺には、江戸時代から「法勝寺歌舞伎」が伝承されています。この伝承芸能を長く継承、発展させていくために定期公演を開催します。日ごろの練習成果をぜひご覧ください。



昨年度の「ふれあい芸能inさいはく」の様子

●と き：11月27日(日) 開場 正午
開演 13時

●ところ：南部町立西伯小学校体育館

●入場料：前売り券 500円・当日券 700円

※中学生以下は無料

●演 目：子ども歌舞伎「白波五人男 稲瀬川勢揃いの場」

大国さくら会「浪速女の元気節」他

わかとり会「大和なでしこ」他

祥福園 祥福太鼓

法勝寺歌舞伎保存会

しんれいやぐち わたし とんべ えすみか
「神霊矢口の渡 頓兵衛住家の場」

【前売販売窓口・お問い合わせ先】

南部町役場企画政策課(☎66-3113)・教育委員会(☎64-3787)

法勝寺歌舞伎の歴史

法勝寺歌舞伎は幕末の頃、法勝寺宿に来た旅芸人との交流から発展し定着したと言われてしています。その後変遷を経て、現在法勝寺歌舞伎保存会によって伝承されています。平成15年には町の無形文化財に指定されました。

「神霊の矢口の渡 頓兵衛住家の場」の見どころ

大悪人な渡し守・頓兵衛から恋する人を守ろうと命を捨てる娘・お舟の悲恋が描かれます。

《あらすじ》頓兵衛の娘・お舟は、わが家に舟を頼みに来た新田義峯よしみねに一目惚れ。しかし頓兵衛は大枚の賞金を狙い、義峯を闇討ちにしようとしています。お舟は自らの命を犠牲にして、密かに義峯を逃します。

出演者コメント

「神霊矢口の渡 頓兵衛住家の場」お舟役 三村愛嘉あいかさん

お客様を楽しませたり、悲しませたりと感動させる舞台にしたいです。みんなで一生懸命演じるのでぜひ観に来てください。

現在高校3年生の三村さんは小学校3年の時から歌舞伎に携わり、今回はお舟という重要な役どころで出演します。「短い時間でしたが、プロの先生からも指導していただきました。初めての定期公演でしたくさんの人に観てもらいたいですね」と話す三村さん。週1回の稽古にも自然と力が入ります。みなさんも地元伝統芸能をぜひご覧ください。

